

ビジネス科 3年B組

教科	商業	科目(単位)	グローバル経済 (3単位)
使用教科書	グローバル経済 (実教出版)		
授業形態	通常授業 ・ 分割授業 ・ T T		

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。

※T T (チームティーティング) とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、グローバル化する経済社会におけるビジネスの展開に必要な資質・能力を育成することを目指す。

2 科目の内容と授業の進め方

- ・教科書を中心として、講義形式で授業を行います。
- ・経済のグローバル化について実務に即して体系的・系統的に習得する。
- ・経済のグローバル化への対応に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- ・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、グローバル化する経済社会におけるビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 学習の方法

- ・教科書の学習内容を理解し、知識を深める。
- ・具体的な事例がまとめられているので、その事例をタブレットなどで調べ探究をしてレポートやノートにまとめる。
- ・コラムを読み、自分なりの経験や考えをまとめ、自分の意見をまとめる。
- ・事例とコラムの内容をもとにした課題「Study」で信頼性の高い情報を見極める力を養い、一つの事柄を多面的に見る力を育む。
- ・話し合いやグループ活動を通じて人と協力することと、他の人の意見を取り入れて自分の考え方を広げたり深めたりする。
- ・科学的な根拠に基づいて分析したり、客観的に物事をとらえたりする力を身に付け、自分の考えを文章でまとめたり発表したりする力を育む。
- ・社会の出来事に関心を持ち、自分のこととして受け止め考え抜く。

4 課題・補習について

- ・考査ごとに、ノートを点検します。
- ・定期考査後、理解が低い場合は、追試などの補習を行います。
- ・テーマに沿ったレポート提出をします。

5 この授業で取得可能な資格 (検定試験)

- ・特になし

6 観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
企業における経済のグローバル化への対応など実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ経済に関する知識を身に付けている。	経済のグローバル化をはじめとした様々な知識などを活用し、企業における経済のグローバル化への対応に関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、経済に関する理論やデータ、ビジネスに関する成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら経済について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、経済社会の動向を踏まえて経済のグローバル化に対応したビジネスの展開に責任を持って取り組もうとしている。

ビジネス科 3年B組

教	科	商	業	科目(単位)	グローバル経済(3単位)
---	---	---	---	--------	--------------

7 年間の学習計画

月	単元名	学習の内容	評価方法 (課題等)
4	第1章 グローバル化が進展する社会 1. 国境を超えて広がる世界	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化と国際化の違いについて理解し、グローバル化する現在の社会について理解を深める。 ・金融、企業、社会の多様性とグローバル化の関連について考える。 ・地域経済統合の意義について学ぶ。 ・グローバル化によってどのように経済発展に結びつくのかを学ぶ。 ・グローバル化による問題点について考え、対応方法について検討する。 章末の実習に取り組む。	行動観察 レポート提出 問題集点検 前期中間考査
5	2. グローバル化する社会 3. グローバル化と地域経済統合の動き 4. グローバル化と経済発展 5. グローバル化の諸問題		
6	第2章 経営のグローバル化 1. 多国籍企業とグローバル経営		
7	2. 企業の海外進出とグローバル経営の難しさ 3. グローバル経営の現状		
8	4. グローバル経営の課題 5. グローバル化に伴う企業の社会的責任		
9			
10	第3章 経済のグローバル化 1. 人材のグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化における人材(ヒト)の状況を外国人労働者や賃金の観点を含めて理解する。 ・自由貿易と国際分業の観点をもとに、経済のグローバル化における財(モノ)のやり取りに関して、二国間協定や地域経済統合の意義を学ぶ。 ・金融の役割や形態、金融商品、金融機関等について学び、日本における金融の現状と外国為替に関する知識を学び、金融(カネ)のグローバル化について理解する。 ・情報通信技術の発達と個人情報のあり方についての視点から、情報のグローバル化について理解する。 章末の実習に取り組む。	行動観察 レポート提出 問題集点検 後期中間考査
11	2. 財とサービスのグローバル化 3. 金融のグローバル化		
12	4. 情報のグローバル化		
1	第4章 市場と経済 1. 需要と供給による市場の理論		
2	2. 経済成長 3. 景気循環とインフレーション 4. 経済政策		